

「第10回金融ワーキンググループ」ご説明資料

平成28年11月4日

一般社団法人 全国信用保証協会連合会



1 起業・創業支援の取組み

これから創業する方・創業間もない方に経営の知識習得の場を提供

創業者向けセミナー・スクールの開催（千葉）

これから創業する方、創業間もない方に創業に向け、創業に必要な知識、役立つ知識の習得を支援。

《創業セミナー》

テーマ別に講師を招き、これから創業する方、創業間もない方に創業に必要なノウハウを学ぶ場を提供。

《創業スクール》

毎回参加することで起業する計画に必要な知識を習得可能なスクールを開催。

※セミナー・スクール受講生には、要望に応じて支援専門家を派遣。

28年度下期セミナー開催日程

12月10日	起業セミナーバイキング (3つのテーマから複数選択) 個別無料相談会同時開催
	創業の基本知識を学ぶ お金の管理 会計の知識
	インターネットを使って販売促進！
12月17日	販売促進で新規顧客獲得
	従業員の雇用と活性化で会社を大きく
	繁盛飲食店の作り方！

28年度下期スクール開催日程

1月14日	・ビジネスプラン概略と重要性 ・ビジネスモデルを作り上げる
1月21日	・売上計画の作成 ・売上UPのための販売促進計画
1月28日	・費用、設備投資を考える ・計画のブラッシュアップ ・個別相談会
2月4日	・創業社長の講演会 ・ビジネスプラン発表会

創業後のフォローアップイベント開催（神奈川）

- ・創業後、当初思い描いた計画通りに事業が進んでいるか、計画の修正の要否などを検証し、今後の成長に結び付けていくためのフォローアップとして、セミナーイベントを開催。
- ・セミナー参加者には、要望に応じて支援専門家を派遣する取り組みも実施。
- ・また、同じ悩みを共有できる創業者同士のネットワーク構築を支援するため、交流会も開催。

セミナー開催日程

第1回 10/28 金	第2回 11/4 金
テーマ：チェック！ 創業時の事業計画と今の姿	テーマ：ブラッシュアップ！ 事業計画の修正は必要なのか
第3回 11/11 金	《参加者特典》 経営でお困りの方へ中小企業 診断士等の専門家を派遣します！ しかも！なんと！ 無料で最大8回まで！！
テーマ：ステップアップ！ 創業期から成長期に向けて	

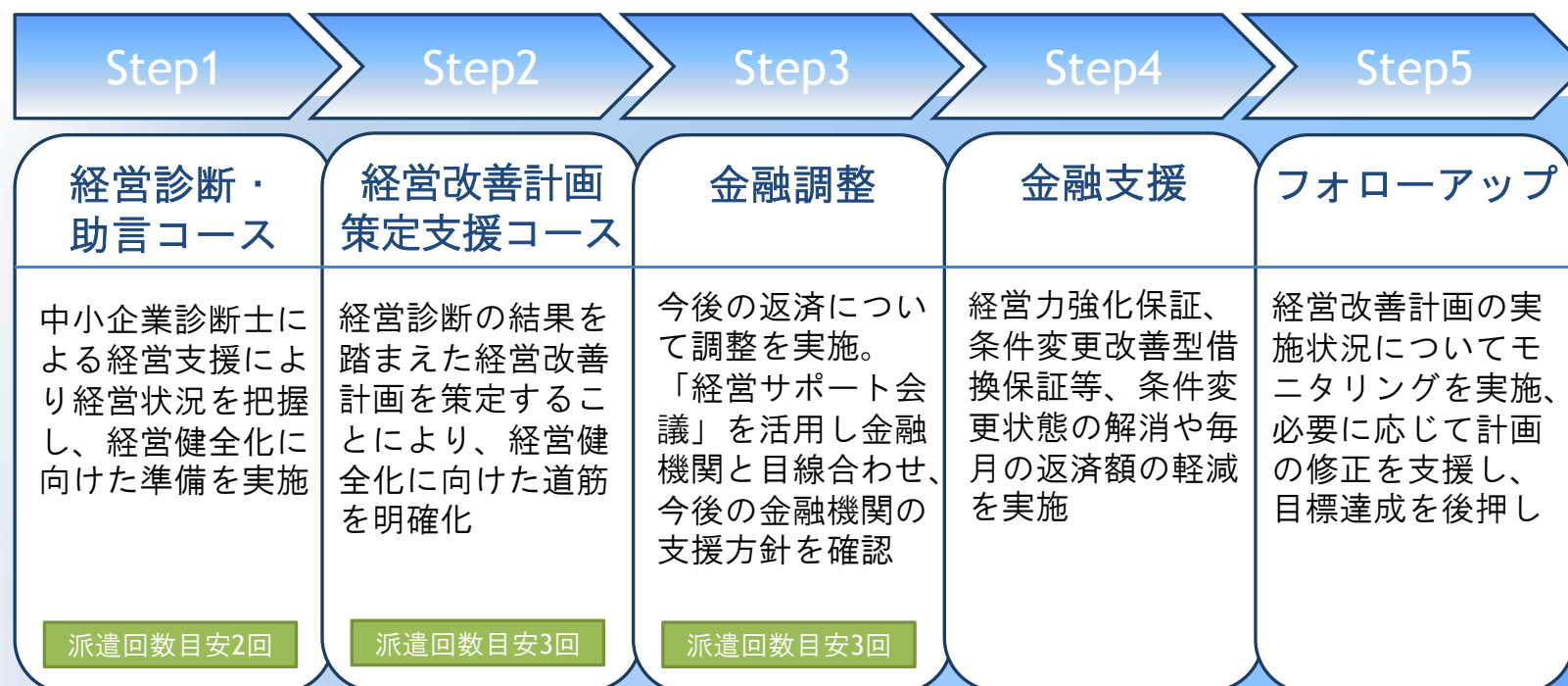
2 経営改善への取り組み

経営課題の解決支援のため、中小企業と外部専門家を“つなぐ”

企業の経営課題を確認し、企業の要望に応じてニーズにあった専門家を派遣

経営診断を通じ、経営支援から金融支援まで一貫した支援を実施

栃木県信用保証協会の例



※協会職員の訪問、専門家派遣には、中小企業・小規模事業者経営支援強化促進補助金も活用

3 地方創生に向けた取り組み

成長企業、若手経営者の“声”を届け、
地域の創業マインドの醸成に取り組む

社会・経済課題である事業承継を円滑に

若手経営者の活躍をテレビ番組で紹介（長野）

長野朝日放送番組「信州 夢追人～新時代の経営者たち～」

平成26年より、創業者や事業承継者など、新時代を切り拓き、夢に向かって邁進する地元の若手経営者の活躍を紹介する番組の企画を開始。

◆番組の趣旨

次代を担う若手経営者の活力ある姿を紹介。

企業の業務内容や沿革をはじめ、若手経営者へのインタビュー取材から経営の理念や信念に迫る。

元気あふれる中小企業の活動を通じて起業する喜びや楽しさを伝え、創業を支援する協会の役割も紹介。



訪問理美容サービス「髪や長野」
を手がける株式会社ウェルケア
ビューティー。
(平成28年1月5日放送)



～新時代の経営者たちが、綺麗星のごとく輝く、そんな未来を夢見ています～

県内関係者と事業承継の協力体制を構築（山形）

「オール山形」での協力体制

山形県内における事業者の高齢化、後継者不在に対する問題意識のもと、自治体、金融機関、関係機関とともに勉強会を開催。セミナーの開催と保証制度を創設。相談を受け付ける体制も構築。

協力体制の下でセミナー開催

普及啓発のため、関係者と「事業承継セミナー」を共催。

事業承継サポート保証

事業承継を行う際の課題である株式の買取り資金調達を支援するため、持株会社スキームを活用した保証制度を創設。



セミナーの様様



震災や台風、大雨など、近年多発している自然災害によって、経営の安定に影響を受ける中小企業者の対し、事業の復旧、復興を支援

熊本地震への対応に関する新聞報道

追加融資、返済条件変更…金融機関が支援

素早い対応 中小に安心感

「ようやく地震前の生産に戻れた。これまでの分も取り戻したいね」

10月上旬、大津町で産業用車両の部品などを手掛ける武山鑄造熊本工場。武山光治社長（56）は、熱気に満ちた工場を見渡し、笑顔を見せた。「一時はどうなるかと思ったが、復旧できた。金融面の支援は本当にありがたかった」

約100人の従業員は無事だったが、溶解炉5基のうち2基が損傷し操業を停止。建屋も被害を受けた。

「復旧費用は…」「当面の資金繰りは…」

悩んだ武山さんは本震の数日後、自ら県信用保証協会に相談。災害保証制度を活用して復旧費を調達することになった。「最初に電話口で『安心してください』と言われてすごくほっとした」と武山さん。建屋を補修し、9月半ばには溶解炉2基も再稼働した。

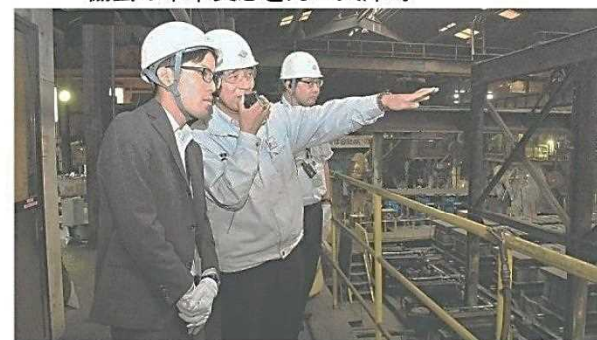
担当した同協会の木下真志さん（30）は、復旧した工場を訪れ、「企業との向き合い方を考えさせられた半年間だった」と振り返った。地震後、同社をはじめ多くの案件を手掛ける。「実情把握の大切さを日々感じている」という。

熊本地震では、多くの企業が営業停止に追い込まれた。しかし、東日本大震災と異なり、これまで地震関連での倒産発生は少ない。熊本商工会議所の高山晴司経営支援部長（52）は「金融機関の素早い対応が中小企業に安心感を与えた」と指摘する。

実際、肥後銀行は5月末までに県内の個人4万4千件、法人1万6千件の取引先を全て訪問し、被災状況や要望を細かく把握した。その結果、9月末までに法人・個人合わせて追加融資は3160件、返済の条件変更は710件に上った。

「取引先の要望に応えるのが基本姿勢だ」と、

工場の復旧状況を説明する、武山鑄造の武山光治社長（中央）。左は県信用保証協会の木下真志さん＝大津町



同行与信統括部の福永健・融資企画グループ長（44）。正式契約を結ばずに返済停止に応じたのも300件を超えたという。

同行が携わる支援は、国、県が復旧費の一部を補助する「グループ補助金」の申請や、復旧工事の業者紹介など多岐にわたる。今後は債権買い取りなど復興ファンドの活用も増えそうだ。

「地震直後の対応は役割を果たせた。これからは10年先、20年先の熊本につながる支援に取り組むときだ」。福永さんは、県内経済への長期的な貢献を見据える。（辻尚宏）

5 今般の見直しの方向性について

保証協会の取組みの方向性

- 保証協会は、これまで、地域に根ざした中小企業支援機関として、地域の中小企業・小規模事業者の成長を支える取組みを行ってきた。
- 創業支援、経営支援は一朝一夕で成果が現れるものではないが、地域活性化のため、今後とも、金融機関、中小企業支援機関と連携しつつ、地道に取組んで行く。

今般の制度見直しの方向性について

- 今般の制度見直しは、現在も保証の現場で実施している金融機関との連携をより一層深化させることにより、中小企業・小規模事業者の成長に向けた支援を更に強化するものと捉えており、保証協会の取組みの方向性と一致。
- 見直しの実施にあたっては、千差万別である企業の状況を勘案し、柔軟な対応を行うことで、中小企業・小規模事業者の資金繰りに万全を期すとともに、中小企業・小規模事業者の発展、ひいては地域の活性化により一層貢献できるよう、取組んでいきたい。
- 他方で、外的要因により業況が変化しやすい創業者や小規模事業者、危機時等の信用収縮期に関しては信用保証の機能がとりわけ求められるステージであり、信用保証の機能が一層発揮できるよう配慮をお願いしたい。